

平成27年度 大学コンソーシアムえひめ共同授業 手 引 き

生を支える

～愛媛で暮らす私たちの生命を守り生活を支えるしくみ～



「生」、それは命、生きる事、暮らしなどを意味します。
私たちは地域社会の一員として
連続した活動の中でお互いに支えあい生きています。
愛媛に暮らす私たちが、
自分自身や自分を取り巻く環境、社会システムなどについて
考察します。
県内 11 大学が共同で授業を行い、他大学の学生とともに
受講します。

開催期間 平成 27 年8月 31 日(月)～9月3日(木)

予備日:平成 27 年9月4日(金)

開催場所 愛媛大学城北キャンパス グリーンホール

(参加大学) 愛媛大学、松山大学、松山短期大学、聖カタリナ大学、
聖カタリナ大学短期大学部、愛媛県立医療技術大学、松山東雲女子
大学、松山東雲短期大学、今治明德短期大学、環太平洋大学短期大
学部、放送大学愛媛学習センター(当番大学)愛媛県立医療技術大学

平成27年度 大学コンソーシアムえひめ共同授業 シラバス

科目番号	
授業科目の区分等	それぞれの大学によって位置づけは異なる
対象学生	愛媛県内にある大学のすべての学部・短期大学の全学年対象
授業形式	集中講義
開講時期	平成27年8月31日(月)～9月3日(木) 但し平成27年9月4日(金)を予備日とする。
授業題目	生を支える ～愛媛で暮らす私たちの生命を守り生活を支えるしくみ～ Social Environment Supporting the Health and Wellbeing of People in Ehime
担当教員	田村周一(Tamura, Syuichi)、小西敏雄(Konishi, Toshio)、佐田榮司(Sata, Eiji)、松田ちから(Matuda, Tikara)、古賀理和(Koga, Masakazu)、中島敏幸(Nakajima, Toshiyuki)、山口 巧(Yamaguchi, Takumi)、野村美千江(Nomura, Michie)、河合篤史(Kawai, Atsushi)、森岡千穂(Morioka, Chiho) (担当順)
授業のキーワード	命(life)、生きること(live)、暮らし(living)、支える(support)、地域社会(communitiy)、生態系(ecosystem)、健康(health)、防災(disaster prevention)、技術(technology)、教育(education)
授業の目的	「生」、それは命、生きる事、暮らしなどを意味し、私たちは地域社会の一員として連続した活動の中でお互いに支えあい生きています。愛媛に暮らす私たちが、自分自身や自分を取り巻く環境、社会システムなどについて考察します。 1. 健康・医療・福祉などの視点から、人々の「体と心を支える」しくみとそのあり方について考える。 2. 防災・産業・環境などの視点から、人々の「暮らしを支える」しくみとそのあり方について考える。 3. 教育・文化などの視点から、人々の「より良く生きることを支える」しくみとそのあり方について考える。
授業の到達目標	1. 体と心を支える健康・医療・福祉のしくみの現状を知り、自らの今後のあり方を述べる。 2. 暮らしを支える防災・産業・環境などの視点から、より良い暮らしのあり方を述べる。 3. より良く生きることを支える教育・文化などの視点から、私たちを取り巻く社会のあり方を述べる。
授業の概要	「生を支える」をテーマに、愛媛県内11大学が共同で授業を開講します。各大学の教員の専門領域を生かして共同で授業を行い、他大学の学生とともに愛媛大学で受講します。
授業スケジュール	90分を1コマとする以下の15コマの授業が、4日間の集中講義(5日目は予備日)の形態で実施される(場所:愛媛大学)。 開講時間:1時限目:9:00～10:30、2時限目:10:45～12:15、3時限目:13:15～14:45、4時限目:15:00～16:30 8月31日(月)10時 ガイダンス 8月31日(月)2時限目(1コマ)地方社会における健康・医療－社会学からの接近【聖カタリナ大学講師 田村周一】 8月31日(月)3、4時限目(2コマ)日常生活を支える情報技術－根底で支える整数論【松山東雲女子大学教授 小西敏雄】 9月1日(火)1時限目(1コマ)いのちの値段－医療の平等性について考える【愛媛県立医療技術大学教授 佐田榮司】 9月1日(火)2時限目(1コマ)おさなごの秘密－幼児期の発達を学び、子どもの虐待予防を考える 【今治明德短期大学教授 松田ちから】 9月1日(火)3、4時限目(2コマ)生命の営みを知り地球の未来について考える【愛媛大学講師 古賀理和】 9月2日(水)1、2時限目(2コマ)水環境と微生物【愛媛大学教授 中島敏幸】 9月2日(水)3、4時限目(2コマ)愛媛の健康を考える－新たな医療の幕開けを支える薬剤師【松山大学准教授 山口 巧】 9月3日(木)1時限目(1コマ)生活環境に関連する健康課題を解決するしくみ【愛媛県立医療技術大学教授 野村美千江】 9月3日(木)2時限目(1コマ)自分らしく生きていくためにできること【環太平洋大学短期大学部講師 河合篤史】 9月3日(木)3、4時限目(2コマ)災害と社会心理【松山大学准教授 森岡千穂】 9月4日(金):予備日
授業時間外学習にかかわる情報	予習・復習が必要である。「手引き」に従って予習を行う。また、授業で課されるレポートを期限内に提出する。
受講のルール	出席が授業開講時間数の3分の2以上なければ評価しない。 授業後のレポートなどの提出が課された場合には、期限・提出方法を厳守し、必ず提出すること。 授業時間毎に配布される「出席カード」に記入し必ず提出すること。但し、授業開始から15分で出席カードを回収し、それ以降の出席者については、「別の出席カード」を配布し、テスト又はレポートに添付して提出する。 「出席カード」の提出がない場合には、レポートの提出があっても0点とする。
教材に関わる情報	各大学にて事前に「手引き」(7月下旬配布予定)を受領すること。授業中にも、適宜資料等が配付される。
評価にかかわる情報	授業中のテスト又は授業後のレポートにより評価される。 1コマの授業で評価を行う場合のテスト(又はレポート)は100点満点、同一教員が連続して2コマの授業で評価を行う場合のテスト(又はレポート)は200点満点とする。計15コマの点数を合計(1500点満点)し、その結果を100点満点に換算して成績評価とする。
台風の際の取り扱い	台風等による特別警報・暴風警報が、午前7時の時点で松山市に発表された場合は午前中の授業は中止とする。11時の時点で特別警報・暴風警報が解除になれば午後の授業は行う。11時の時点で松山市に発表されていれば午後の授業は中止とする。但し、松山以外の県内の一部地域に上記警報が発表された場合で、<所属>大学所在地と学生の住所が共に発表地域内にある場合は、講義回数に含めない。学生の住所のみが発表地域内にある場合は、その旨を本人が所属大学に申し出れば、講義回数に含めない扱いをする。逆に、<所属>大学の所在地が発表地域内にあっても、学生の住所が発表地域の外にある場合は、学生は授業に出席しなければならない。最後の点には注意を要する。 愛媛大学及び各々の学生が所属する大学に問い合わせても答えられないため、個々でNHKニュース、気象庁のホームページなど、公的な機関からの情報を得ること。 中止された授業は、予備日の9月4日(金)に実施する。なお、開講時限はそのままとする。
その他	愛媛県内11大学が共同で授業を実施する。各大学の教員による様々な側面からの授業を愛媛大学で受講できる。さらに、他大学の学生とのグループディスカッションや交流をもつ機会となる。

平成27年度大学コンソーシアムえひめ共同授業日程表

メイン・テーマ：生を支える ～愛媛で暮らす私たちの生命を守り生活を支えるしくみ～

場 所：愛媛大学城北キャンパス グリーンホール 平成27年8月31日(月)～9月3日(木)・予備日 9月4日(金)

	9				10				11				12				13				14				15				16	
	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30
8月31日 (月)			受付		ガイダンス		休憩		講義1 地方社会における健康・医療 －社会学からの接近 聖カタリナ大学 田村周一 先生			休憩		講義2 日常生活を支える情報技術 －根底で支える整数論 松山東雲女子大学 小西敏雄 先生			休憩		講義3 日常生活を支える情報技術 －根底で支える整数論 松山東雲女子大学 小西敏雄 先生											
9月1日 (火)					講義4 いのちの値段 －医療の平等性について 考える 愛媛県立医療技術大学 佐田栄司 先生		休憩		講義5 おさなごの秘密 －幼児期の発達を学び、 子どもの虐待予防を考える 今治明德短期大学 松田ちから 先生			休憩		講義6 生命の営みを知り 地球の未来について考える 愛媛大学 古賀理和 先生			休憩		講義7 生命の営みを知り 地球の未来について考える 愛媛大学 古賀理和 先生											
9月2日 (水)					講義8 水環境と微生物 愛媛大学 中島敏幸 先生		休憩		講義9 水環境と微生物 愛媛大学 中島敏幸 先生			休憩		講義10 愛媛の健康を考える－新たな 医療の幕開けを支える薬剤師 松山大学 山口 巧 先生			休憩		講義11 愛媛の健康を考える－新たな 医療の幕開けを支える薬剤師 松山大学 山口 巧 先生											
9月3日 (木)					講義12 生活環境に関連する健康課題 を解決するしくみ 愛媛県立医療技術大学 野村美千江 先生		休憩		講義13 自分らしく生きていくために できること 環太平洋大学短期大学部 河合篤史 先生			休憩		講義14 災害と社会心理 松山大学 森岡千穂 先生			休憩		講義15 災害と社会心理 松山大学 森岡千穂 先生											

大学別受講者数一覧

大学名	収容定員	受講定員	申込者数
愛媛大学	7,540	90	33
松山大学	5,560	70	10
松山短期大学	200	10	29
聖カトリック大学	792	10	41
聖カトリック大学短期大学部	200	10	3
松山東雲女子大学	460	10	15
松山東雲短期大学	580	10	5
愛媛県立医療技術大学	380	10	81
今治明德短期大学	300	10	1
環太平洋大学短期大学部	200	10	7
放送大学愛媛学習センター	若干名	若干名	0
合 計	16,212	240+ α	225

講義題目及び担当講師

講義1	地方社会における健康・医療－社会学からの接近	聖カトリナ大学講師 田村周一
講義2 講義3	日常生活を支える情報技術－根底で支える整数論	松山東雲女子大学教授 小西敏雄
講義4	いのちの値段－医療の平等性について考える	愛媛県立医療技術大学教授 佐田榮司
講義5	おさなごの秘密－幼児期の発達を学び、子どもの虐待予防を考える	今治明德短期大学教授 松田ちから
講義6 講義7	生命の営みを知り地球の未来について考える	愛媛大学講師 古賀理和
講義8 講義9	水環境と微生物	愛媛大学教授 中島敏幸
講義10 講義11	愛媛の健康を考える－新たな医療の幕開けを支える薬剤師	松山大学准教授 山口 巧
講義12	生活環境に関連する健康課題を解決するしくみ	愛媛県立医療技術大学教授 野村美千江
講義13	自分らしく生きていくためにできること	環太平洋大学短期大学部講師 河合篤史
講義14 講義15	災害と社会心理	松山大学准教授 森岡千穂